

## 1. 実況上の着目点

- ① 前線を伴う低気圧が四国の南を東進。前線は、日本のはるか東から南西諸島付近を通り、華中へのびている。沖縄本島付近では、前線の暖域で非常に激しい雨を解析し、発雷を検知。
- ② 500hPa 5700m付近のトラフに対応した日本海の低気圧が東北東進。低気圧付近から南へシアーラインがのびて、シアーライン付近では非常に激しい雨を解析し、発雷を検知。
- ③ 北海道南方海上の高気圧が南東へ移動。朝鮮半島付近の高気圧がゆっくり東へ移動。四国沖では、本州の南海上の風浪を波源とするうねりの影響で、4m近い波高を観測。



前線記号の黒塗りはFT24、白抜きはFT48。破線は地上のシアーライン。  
主要じょう乱解説図

## 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項②の低気圧は24日夜にかけて日本海北部へ進み、低気圧付近からのびるシアーラインも北日本付近へ進み、その後、不明瞭化する。1項①の低気圧は25日夜にかけて小笠原近海へ進み、その後不明瞭化。前線は25日朝にかけて南西諸島付近で停滞し、その後、南西諸島付近では不明瞭化する。前線に向かう850hPa 相当温位 345K以上の下層暖湿気やシアーラインに向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となる所がある。南西諸島では25日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。南西諸島では25日にかけて、北～西日本では24日は、落雷、突風、降ひょう、急な強い雨に注意し、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。1項③の北海道南方海上の高気圧は、25日夜にかけて日本のはるか東へ移動する。朝鮮半島付近の高気圧は、25日朝にかけて日本海を東北東へ移動し、その後、不明瞭化する。これらの高気圧と小笠原近海へ進む低気圧及び日本海の低気圧との間で気圧の傾きが急となり、強い風が吹き、しける所がある。北～西日本では24日は、強風に注意し、東～西日本では25日にかけて、高波に注意。
- ② 25日夜までに、500hPa 5820m付近の正渦度極大域に対応した華中の低気圧が前線上に発生。前線は26日にかけて、対馬海峡付近から東シナ海にのびる。25日夜から26日にかけて、前線を伴う低気圧がオホーツク海を東北東進し、前線が沿海州付近からサハリン付近へ進む。前線や低気圧と2項①の日本のはるか東へ移動する高気圧の張り出しとの間で気圧の傾きが急となり、やや強い風が吹き、波が高くなる所がある。東～西日本では26日は、高波に注意。前線に向かう下層暖湿気の影響で、降水が広がり、大気の状態が不安定となる可能性がある。西日本では26日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷、突風に留意。

**3. 数値予報資料解釈上の留意点** 総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。2項②の華中の低気圧や前線の位置と降水域の予想には不確実性があることに留意。

**4. 防災関連事項 [量的予報等]** ① 雨量 (06時からの24時間) : 多い所 (100mm以上) はない。

② 波浪 (明日まで) : 伊豆諸島・近畿・四国4、関東・東海3m。

**5. 全般気象情報発表の有無** 発表の予定はない。